

「税についての作文」

多古中学校 4名の生徒が入賞!

全国納税貯蓄組合連合会・国税庁が共催で、税について関心を持ってもらい、また、税について正しい理解を深めてもらうことを目的に実施している「税の作文」。

中学生の皆さんから作文を募集したところ、厳正な審査の結果、多古中学校から3年生4名の生徒の作品が優秀作品に選ばれました。

その中で、渡貫さんの作品は地区の審査から進み、「東京国税局管内納税貯蓄組合連合会優秀賞」を受賞しました。皆さん、おめでとうございます。

- 東京国税局管内納税貯蓄組合連合会優秀賞 佐原税務署管内納税貯蓄組合連合会長賞 **渡貫 芳乃香さん**
- 佐原税務署長賞 **高橋 彩さん**
- 多古町長賞 **五木田 華音さん**
- 香取地区教育委員会連絡協議会長賞 **八木 美咲さん**



(左から) 八木さん、高橋さん、渡貫さん、五木田さん

各小学校へ

「農業とわたしたちの暮らし」贈呈

10月7日、JAかとりから各小学校5年生に、副読本「農業とわたしたちの暮らし」が贈呈されました。

この副読本は、生活に欠かせない「食」と「農業」、「環境」と「農業」の密接な関わりや、各家庭に食を届けるための流通、農畜産物についてイラスト、写真、グラフを多く使用してわかりやすく作られています。

この副読本から、町の基幹産業である農業を学び、将来の後継者が育つてくれることを期待されます。



(左から) 岩立教育長、所町長、JAかとり飯田常務理事、加瀬多古支店長

お問合せ●学校教育課学校教育係 ☎ 76-5411

『農地中間管理事業』 募集しています!

農地を貸したい方・借りたい方へ

担い手への農地集積・集約化を図るため、農地中間管理機構が農地所有者と農業経営者の間に立ち農地の集団化、経営規模の拡大、新規参入を進めます。

農地の貸借を希望の方は、産業経済課までご相談ください。

農地を貸したい方



機構を通じて農地を貸し出す場合は下記の条件を満たす必要があります。応募に必要なものなど詳しくはお問い合わせください。

- 条件
 - ①農業振興地域の農用地であること
 - ②遊休農地の場合は再生が可能であること
 - ③安定した農地の貸付に支障をきたすような仮登記や抵当権の設定等がないこと

- 注意事項
 - 機構との契約は、借り手が見つかったから行います。申込書を提出した後も、借り手が見つかるまでの間は農地の管理をお願いします。
 - また、農地が共有名義の場合は、共有者の同意が必要です。

農地を借りたい方



機構から農地を借りたい場合は、申し込みをする必要があります。詳しくはお問い合わせください。

- 注意事項
 - ①申込書の提出後に利用計画等について聞き取りを行う場合があります。
 - ②千葉県園芸協会のホームページで申込者の氏名・借受希望農地の面積・区域区分・栽培予定の作物、希望する条件が公表されます。

お問合せ●産業経済課農村整備係 (受付窓口)
☎ 76-5404
農地中間管理機構
(公益社団法人 千葉県園芸協会)
☎ 043-223-3011

今月の給食レシピ

No.16



照焼きチキン

作り方

【下ごしらえ】

鶏もも肉は食べやすい大きさに切り、厚い部分には、包丁を入れて厚みを均等しておく。しょうが、にんにくはみじん切りまたはすりおろす。

- ①鶏もも肉に、しょうがとにんにくをまぶし、Aの調味料で下味を付けておく。
- ②フライパンにサラダ油を熱し、①の鶏肉を皮目から焼く。
- ③鶏肉の中まで火が通ったら、Bの調味料をフライパンに入れ、鶏肉に絡めながら煮詰める。鶏肉に照りよくタレが絡まったら、お皿に盛る。

材 料(4人分)

- 鶏もも肉…………… 600g (2枚)
- しょうが…………… 10g
- にんにく…………… 1かけ
- 酒…………… 小さじ2
- 食塩…………… 少々
- こしょう…………… 少々
- サラダ油…………… 小さじ1
- 砂糖…………… 大さじ1と1/2
- 酒…………… 大さじ2
- みりん…………… 小さじ2
- しょうゆ…………… 大さじ1と1/2

栄養価(1人分)

エネルギー	222kcal
たんぱく質	29.0g
脂質	6.9g
カルシウム	12mg
食塩相当量	1.7g

一口メモ 鶏肉は肉の中でも安価で、低脂肪、高たんぱくで消化も良い食材です。鶏むね肉を使うと脂肪分が少ないので、あっさりとした仕上がります。

給食献立 10月20日(火) カミカミ給食

ごはん 牛乳 照焼きチキン キャベツのたくあん和え 根菜のごま汁 果汁グミ(噛むためのグミです)

俳句

文芸コーナー

※多古町俳句会では会員を募集しています

- 虚なる帰燕の空の淋しさよ 北中 鈴木 裕
- ちちろ鳴き居眠り誘う湯殿かな 千葉市美浜区 内藤 誠
- 空青し芙蓉の白や明日新た 堀ノ尻 野老 恵子
- コスモスや見送りの手をまだ振りて 南中 木内 慶子
- 巡回し挨拶のごと秋つばめ 成田市三里塚 山崎 明子
- 身に入みて膝の痛みに老い認め 水戸 高岡 克子
- 秋深し太郎が吠える夜半かな 多古台 田中 律子
- 天空にピリオドを記し帰燕かな 多古台 渡部 健

短歌

※短歌の作成者名は雅号を使用しており実名と異なる場合があります

- 裏庭の柿の落葉を音もなく踏みつつ猫が近付いてくる 南玉造 秋山 絢子
- 定年のなき農ながく引き継ぎて軽トラックは卒寿の味方 大高 藤井 たか
- 豊作の茗荷あしらいし煮魚にゆるりと夫との朝食をとる 柴井 佐藤 登久
- 初秋の褒美のごとく庭先に花無花果の三つ熟れをり 南玉造 秋山 裕子
- さみしさもうつたうしさも胸交せて蟬はなきをり日暮れの木立 柴井 小川美智子
- コロナ禍に恩ある人の会葬に行けざりし夫は心を残す 柏熊 越川 節子
- いつの間に色変りせし白桔梗可憐さ況して風に揺らめく 林 高橋 宏子